

平成25年度第1回江別市経済審議会会議録（要旨）

日 時	平成25年7月23日（火） 10:30～12:00
場 所	江別市民会館37号室
出席者（10）名	会 長/太田 清澄 副会長/中村 忠之 委 員/鴻野 徹、井上 誠司、大澤 由美子、西野 寛、林 敏昭、外村 真美、矢野 博之、中田 和孝
事務局（10）名	経済部長、総合特区推進監、経済部次長、商工労働課長・参事、農業振興課長、企業立地課長、総合特区推進担当参事、商工労働課主査ほか2名
欠席者（7）名	委員 /伊藤 真理子、工藤 多希子、有倉 輝之、今村 琢磨、金田 敏雄、森田 芳明、町村 均
議 事	報告事項 （1） 経済審議会の所掌事務について （2） 経済部の組織機構及び事務分掌について （3） 平成25年度の経済部各課予算概要及び主要施策概要について

会議録（要旨）

経済部次長	開会のことば
経済部長	委嘱状の交付、挨拶
経済部次長	出席委員の紹介、経済部出席職員の紹介
経済部次長	会議成立報告
経済部次長	会長・副会長の互選についてですが、各委員の皆様からご推薦ございましたら、発言願います。
鴻野委員	事務局案があればお示しいただきたい。
商工労働課長	案として、会長には前期副会長を務められた経験のございます太田委員にお願いしたいと思っております。また、副会長には前期経済審議会委員を務められました、中村委員にお願いしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。
一同	異議なし
会長・副会長	会長・副会長席に移動後 順次挨拶
商工労働課長	（資料7）江別市経済審議会委員の所掌事務について説明
会長	只今の報告事項（1）について、質問・意見はありませんか。
一同	なし
会長	報告事項（2）について説明願います。
商工労働課長	（資料1）平成25年度経済部の機構・配置図、経済部事務分掌説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。 確認ですが、農業振興の（8）の農畜産物の加工、流通が加わったという事は、江別の経済政策の中で、一次産業だけではなく二次産業でどのように売れるかということを見極めて、作るというところに戻ってくるという、六次産業化ということを明解に加えた認識でよいか。
農業振興課長	昨年まではスタッフ制という形をとっていたが、会長が言われたような視点で組織体制を整備をした。
会長	平成25年度主要施策概要に移ります。
商工労働課長	施策概要の説明。
会長	この時点で、質問・意見・ご希望はありませんか。 第3次農業振興計画策定、総合特区推進事業、商工業活性化事業、RTNパーク造成事業につきましては後ほど詳しく説明があるそうですが、その4点を除いた以外で質問・意見はありませんか。
副会長	25年度の予算総額は昨年と比べて増えているか。

商工労働課長	昨年と比べ、約2億6千7百万増えています。 主な内訳は、 政策2の施策1・都市型農業の推進 （地域農業経営安定推進事業）新規のため約1億2千3百万の増額。 政策2の施策2・工業の振興と産学官連携の推進 （RTNパーク造成事業）で約2億の増額、他で減額の部分もあり差し引きの額となります。
会長	資料2のアンダーラインの箇所はどんな意味か。
商工労働課長	資料2右側に書き出した部分（10項目）です。
会長	先ほどの説明を含めて質問・意見はありませんか。
井上委員	新規事業の 地域農業経営安定推進事業 について、それ以前これに変わる事業はあったのですか。
農業振興課長	中身に関してですが、農業機械の導入の際に国から三分の一の補助金が受けられる事業で、昨年までは道央農業振興公社で作っている法人が主体となり取り扱っていたが、平成25年度からは市町村が主体になりました。江別市としては新規になりますが、昨年からは継続して行われている事業です。
会長	今の回答でよろしいか。
井上委員	農業振興資金貸付事業 は、市独自のものか。 次世代就農定着サポート事業 は新規就業者向けなのか参入者向けの事業か、それとも両者へのものか。
農業振興課長	農業振興資金貸付事業 は金融機関を通すが市独自の事業です。 次世代就農定着サポート事業 は、新規就農者の定着を図るための給付金、主として農地を新たに取得した新規就農者などの経営安定がはかれるよう当面の期間支援する事業です。
会長	よろしいでしょうか。（了）
井上委員	ありがとうございます。
会長	他に何かご意見があればお願いします。
鴻野委員	地域プロモーション推進事業 に ◆JR各駅から徒歩で回れるウォーキングマップの作成 とあります。最近朝夕ウォーキングをする人が多いと思いますが、商店街中心にウォーキングをするということにより相乗効果があり、良いのではないかと感じます。
商工労働課長	江別はJRの利便性が良いので、札幌の市民も江別に来やすいのではないかとこの観点から、ウォーキングは健康面にも良いので駅を中心に周辺歩いていただく、帰りには店に立ち寄り休憩・買物などをするということも期待しウォーキングマップの作成作業中です。
会長	イギリスで発生したフットパスがありますが、田園型と都市型があります。まち中の商店街も含めて“江別のフットパス”というものを打ち出すべきだと思う。フットパスは世界的に非常にポピュラーになってきているが、篠津で行われている田園型のフットパスを市のほうで統括して整備して発信したらよいと思う。是非実現願いたい。
会長	その先に進めます。
農業振興課長	資料3 第3次農業振興計画 についての説明。
会長	新総計の策定はいつか。
農業振興課長	平成25年度中にまとめ、26年度スタートです。
会長	今の説明について、質問等はありませんか。
矢野委員	都市型農業というのは端的に言うとどこがポイントか教えて欲しい。
農業振興課長	江別市の定義としては、札幌市に隣接していることから大消費地に近いので様々な品種を手広く作付けし、多様性を活かす事。大学や民間と連携する中で、農産物を使った加工品の開発など、総合的に組み合わせる中で江別としての農業の特色を出していきたいというのがこのテーマの趣旨です。
矢野委員	高付加価値化をして、すぐ近くの大消費地のほうに売り出そうというイメージですか。

農業振興課長	勿論地元消費も重要なテーマではありますが、地理的条件も活用していこうというプランです。
矢野委員	わかりました。
会長	他にありませんか。
井上委員	別の機会でも良いのですが、第2次農業振興計画等、平成20年度以降の計画の達成度を示していただいた上で新たな計画を示して頂けると分かりやすいと思うのでお願いします。
農業振興課長	わかりました。
会長	事務局も資料整備をお願いします。先に進みます。
総合特区担当参事	資料の説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。 非常に時間が掛かる重要な難しいテーマで、このことを推進していくには市民の意識の高まりが不可欠かと思われる。
総合特区担当参事	市民の健康づくりの連携 として、ボランティアの市民に「健康カード」を配布し血圧等を測定しサーバーに情報を蓄積するようなステーションを設けたり、様々な体制作りとフード特区の臨床試験を組み合わせることにより、フード特区の取組への市民の参加を推進したい。
会長	フードコンプレックスは非常に重要なプロジェクトで引き続き見守っていききたい。次に進みます。
企業立地課長	R T Nパークの現状についての説明。
会長	只今の説明について質問・意見はありませんか。造成面積約1.7haとあるがこれが今年予算の3億2千2百万強ということか。
企業立地課長	道路の全長約400mと、下水道整備等将来周辺を開発すると6haの面積が市街化区域に編入されたときのことを想定し先行投資と理解頂きたい。
会長	高額ではあるが、1㎡2万円以下なのでコストとしては妥当な数字とみた。誘致していきたいということで造成をし可能性を図っていくということか。
企業立地課長	コープさっぽろが平成27年に進出する予定に加え、関連企業が進出したいとの申し出があり、求心力のある企業なのでその含みもある。
会長	コストをかける以上見通しとしてコープを含めて進出の可能性が充分にあるという判断のもとに行っているということか。
企業立地課長	そうです。
会長	最後に商工業活性化事業について説明願います。
商店街活性化担当参事	資料説明。
会長	只今の説明についての質問・意見はありませんか。 れんがファサード事業は、建物毎にばらばらに申請されるのか、また対象の判断は何ですか。
商店街活性化担当参事	建物毎の申請で、運営委員会が認めたものが対象となります。
会長	165万は1件の限度額か。
商店街活性化担当参事	165万という数字は、工事費1件あたりを30万位と見込んで、その半額15万を10件分強と積算したものの。
会長	全体を通して意見・希望・補足等はありませんか。
一同	ありません。
会長	以上で終了します。